

学校図書館等充実事業

文部科学省の設定した「学校図書館図書標準※」の冊数を目標に、学校図書館用図書の整備を行った。

また、平成23年度に小学校、平成24年度に中学校へ導入が完了した学校図書館蔵書システムの適正管理に努めた。

※ 学校図書館図書標準

… 公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、文部科学省が平成5年3月に定めたもの。

1. 市立小中学校図書館図書整備状況について

項 目	数 量 等	
	小学校	中学校
平成27年度整備冊数	3,410冊	4,484冊
平成27年度整備額	4,998,100円	6,307,984円
平成27年度市立小学校蔵書数	128,521冊	78,498冊
学校図書館図書標準冊数	117,720冊	78,960冊
学校図書館図書標準達成率	109.2%	99.4%

2. 学校図書館蔵書管理システム

目的及び効果

全市立小中学校において、学校図書館蔵書管理システムの運用により、児童生徒の読書に対する意欲を活性化させ、自主的な読書活動の推進に取り組んでいる。

また、システム導入により、次のような効果の促進向上が図られている。

- ① 容易な「本の検索」により、児童生徒の読書活動や調べ学習の支援への貢献。
- ② 本のバーコードと図書利用カードのバーコードのシステムへの読み込みにより、貸出・返却作業時間の短縮による効率化。
- ③ システムの貸出・返却履歴データから児童生徒の興味のある情報を把握し、今後の蔵書選択収集時への有効活用等。

蔵書管理システム賃借料	小学校 13校分	1,223,460円
	中学校 7校分	921,240円
	合 計	2,144,700円